

平成25年4月30日

鹿児島県議会議長
池畑 憲一殿

日本共産党県議団
まつざき 真琴

事業実績報告書

平成24年度の政務調査費に関する主な事業の実施状況は次のとおりです。

1 事業実績概要について

鹿児島県政をめぐるのは、川内原発再稼働の問題や馬毛島へのFCLP訓練移転問題、オスプレイの配備と低空飛行訓練問題、TPP交渉参加問題など、県民の安心・安全をめぐる重要な課題が山積していた。そのような中で現地調査を行い、県政のあるべき姿を追求した。

その他の県政上の課題についても、現地に足を運び、住民から直接意見や要望を聞くことに努めた。

また、「県議会ニュース」を発行し、県政の実態や会派の主張について広く広報し、アンケートの実施や県政報告会の開催などを通して、県民の意見を聴取することに努めた。

2 事業実績内容について

(1) 調査研究活動

| 開催年月日 | 場 所 | 参加 | 内 容 |
|-----------|------|----|---------------------------|
| 24年 4月25日 | 徳之島町 | 1名 | 救急搬送用ヘリポート建設に係る現地調査 |
| 24年 5月 9日 | 日置市 | 1名 | 川内原発の再稼働に係る周辺自治体の意向の調査 |
| 24年 5月10日 | 長島町 | 1名 | 川内原発の再稼働に係る周辺自治体の意向の調査 |
| 24年 5月23日 | 東京都 | 1名 | 原発問題に関する政府への要望行動 |
| 24年 6月 4日 | 鹿児島市 | 1名 | 川内原発の再稼働に係る周辺自治体の意向の調査 |
| 24年9月1～2日 | 福島市 | 1名 | 福島第1原発の事故後の現状や影響についての現地調査 |

| | | | |
|---------------------------------------|------|----|--|
| 24年10月9日 | 鹿児島市 | 1名 | 十島村における米軍機の低空飛行訓練の実態とオスプレイの訓練についての意向調査 |
| 25年1月22日 | 中種子町 | 1名 | 馬毛島への米軍基地移転について、地元自治体としての意見の聴取 |
| 25年2月15日 | 福岡市 | 1名 | 九州防衛局に海上自衛隊の掃海艇訓練中止を要望 |
| 25年2月11日 | 東京都 | 1名 | オスプレイの配備と訓練飛行の実態について、全国の状況の調査 |
| 25年3月8日 | 出水市 | 1名 | 学校におけるいじめ問題について、全国の状況や出水市における実態の調査 |
| 上記の他、県内各地で、研究調査を実施。全てを「政務調査活動報告書」に記載。 | | | |

(2) 研修活動

| 年月日 | 場 所 | 参加 | 内 容 |
|----------|-------|----|--------------------|
| 24年5月3日 | 鹿児島市 | 1名 | 憲法と原発をめぐる情勢について |
| 24年8月25日 | 鹿児島市 | 1名 | オスプレイと日米安保条約について |
| 25年1月19日 | 薩摩川内市 | 1名 | 原発危険性や地震の影響等について |
| 25年2月2日 | 宮崎市 | 1名 | 核兵器廃絶をめぐる世界情勢等について |

(3) 広報活動について

一般質問を行う議会では、事前に「県議会ニュース」で質問の日時と質問趣旨について広報し、傍聴を呼びかけた。議会後には、「県議会ニュース」で議会の審議の内容や県議団の取り組みについて広報するとともに、意見の聴取を行った。

また、議会外での政務調査の活動の状況についても「県議会ニュース」を従来よりも発行回数を増やし、広報に努めた。

県議団のホームページにおいても、その内容の充実を図り、議会での一般質問や討論などの発言について、素早く掲載することに努めた。

他に、宣伝カーやハンドマイクで、街頭演説を行い、県政の課題や問題点、県議団としての政策や方針などを広く訴えた。

(4) その他

県政上の課題や問題点、更に、国の制度についての理解のため、参考となる資料や

書籍の購入を行った。

調査研究のための事務局員を雇用し、様々な施策の各都道府県での取り組みや県内市町村での取り組みについて、詳しく調査を行った。

また、情報収集のために、インターネットを活用すると共に、情報や資料整理・保存のために事務用品を購入し、作業の効率化に努めた。

3 事業の成果について

特に24年度は、原発問題や米軍基地問題、TPP交渉参加問題など、国政上の課題で、県民の安心・安全、地域経済に係る重要な課題が山積していた。これらの問題について、自治体関係者や住民などから直接聞き取りを行うと共に、研修会への参加や書籍等で学びながら、議会での質問や提案に活かすことができた。

また、その他、様々な県政の課題や県民から寄せられた相談や陳情、その他の情報について、現地に赴き、実情を詳しく調査する中で、問題認識が深まり、それを本会議での質問や常任委員会での審議等に活かすことができた。

これらの問題について、「県議会ニュース」や県議団HPでの情報発信と意見聴取に努める中で、書簡やFAX、メールで意見が寄せられ、議会活動に活かすことができた。